

相談ごと

行政相談

- 〔申込〕 不要。直接会場へ
 〔問合せ〕 総務課 ☎35-3133 各支所
- 高山地域

〔日時〕 毎週(水) 13:00～16:00
 〔場所〕 総合福祉センター(昭和町2)
 ※4月29日(水)は休館日のため休み
 - 丹生川地域

〔日時〕 4月16日(木) 13:00～16:00
 〔場所〕 丹生川支所(丹生川町坊方)
 - 清見地域

〔日時〕 4月10日(金) 9:00～12:00
 〔場所〕 きよみ館(清見町三日町)
 - 荘川地域

〔日時〕 4月8日(水) 13:00～16:00
 〔場所〕 荘川福祉センター(荘川町新洲)
 - 一之宮地域

〔日時〕 4月13日(月) 10:00～12:00
 〔場所〕 一之宮支所(一之宮町)
 - 国府地域

〔日時〕 4月7日(火) 13:00～15:00
 〔場所〕 こくふ交流センター
 (国府町広瀬町)

講座・募集

女性青少年会館講座

- 〔対象〕 市内在住・在勤の方
 〔場所〕 女性青少年会館(花里町1)
 〔申込〕 各期日までに来館・TEL・FAX・MAIL
 (講座名、氏名、住所、電話番号、
 生年月日を明記)
 〔問合せ〕 女性青少年会館
 ☎32-0394 FAX35-2394
 Mail:info@takayama-home.jp
- 陶芸講座

〔日時〕 5月13日(水) 10:00～12:00
 〔定員〕 16人(超えた場合は抽選)
 〔参加料〕 1,300円
 〔申込期限〕 4月19日(日)
 - じんわり体ほぐしヨガ講座

〔期日〕 5月20日～7月1日までの毎週水曜日
 〔時間〕 10:00～11:00
 〔定員〕 20人(超えた場合は抽選)
 〔参加料〕 3,600円(保険料含む)
 〔申込期限〕 4月23日(木)

荒城農業小学校 令和2年度入学児童募集

4月から翌年2月まで、農家先生の指導のもと、農作業や自然体験、里山の暮らしなどを学ぶほか、自ら栽培し収穫した野菜の販売などを行います。

〔対象〕 飛驒地域の小学生(定員80人)
 〔期間〕 4月～令和3年2月(全15回)
 〔場所〕 荒城農業体験交流館
 (国府町八日町)
 〔参加料〕 年間5,140円
 〔申込〕 4月10日(金)までにTEL・FAX
 〔問合せ〕 荒城農業体験交流館
 ☎72-1066 FAX72-1067

市民登山クラブ会員募集

市民登山を目的としたクラブ員を募集します。登山に向けて必要となる基礎知識を学びます。なお、今回の登山は焼岳です。

〔対象〕 小学校4年生以上の市民の方
 (小中学生は保護者同伴)
 〔期間〕 5月12日(火)～7月25日(土)の全6回
 ※7月25日(土)が登山予定日(予備日は翌日)
 〔時間〕 19:00～21:00
 〔場所〕 ビッグアリーナ(中山町)ほか
 〔定員〕 40人(先着順)
 〔参加料〕 1,000円(登山費用は別途)
 〔申込〕 4月2日(木)9:00～20日(月)までに
 ビッグアリーナ窓口
 〔問合せ〕 市体育協会(ビッグアリーナ内)
 ☎36-4307

荒城農業体験交流館体験教室

〔対象〕 市内在住・在勤の方
 〔場所〕 荒城農業体験交流館(国府町八日町)
 〔申込〕 TEL・FAX(超えた場合は抽選)
 〔問合せ〕 荒城農業体験交流館
 ☎72-1066 FAX72-1067

●お菓子づくり教室

今回は、パンを作ります。

〔日時〕 4月9日(木) 13:00～15:30
 〔定員〕 8人 〔参加料〕 1,400円
 〔申込期限〕 4月6日(月)

●飾り巻き寿司教室

〔日時〕 4月15日(水) 13:30～15:30
 〔定員〕 12人 〔参加料〕 1,400円
 〔申込期限〕 4月8日(水)

●シルエットアート教室

〔日時〕 4月16日(木)
 13:00～15:00、19:00～21:00
 〔定員〕 10人 〔参加料〕 1,100円
 〔申込期限〕 4月9日(木)

飛驒山脈ジオパーク構想ジオサイト(第26章)

奥飛驒温泉郷(その2)

改めて「温泉とは何?」と問われるとほとんどの人は、「読んで字の如く、温かい湧き水(泉)、沸かさんでも入れる、これが本当の温泉やさ」と答えます。

飛驒の第七代代官長谷川忠崇によって編纂された「飛州志」の温泉の項に「飛驒には温泉が多くあり、その土地によって冷温剛柔ありといえども湿疹、打身、痔疾、淋病、瘡毒、疝気、金瘡等を専治せりとみえたり云々」とあります。温泉には、様々な温度(泉温)や剛柔すなわち肌触り(泉質)があるが、様々な病気・怪我を治してくれる存在と捉えられていたことが伺えます。沸かさなくてもいい湧き水すなわち鉱泉も温泉と呼んでいました。

現在、地学(温泉学)上では、物理(泉温)・化学(泉質)的に普通の水とは異なる特殊な水が地中から湧き出しているものを温泉といいます。

しかしこれでは、実際の温泉利用上漠然としています。日本では、温泉法で次のように定められています。「地中から湧出する温水、鉱水及び水蒸気その他のガス(天然ガスを除く)で別表に掲げる温度(25度以上)又は物質(1g以上)を有するものをいう」従って泉温が25度以上あれば、鉱物質が1グラム以下でも温泉を名のことができます。

奥飛驒温泉郷の泉温は、ほとんどが50から99度を示し熱くてそのまま入れない場合が多いのです。自然に冷まして入る源泉掛け流しの露天風呂が数多くある訳です。中には中尾温泉のように、泉温百度以上で水蒸気という状態で噴出しています(蒸気泉)。

まさに大地の恵みにたっぷり浸ることができ温泉郷です。

(飛驒地学研究会 下畑五夫)



〔問合せ〕 飛驒山脈ジオパーク推進協議会 ☎0578-84-0038